

## 第 2 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

### 1 単元 「本の世界を広げよう」(ブックトークをしよう)

#### 2 指導観

- 子どもの活字離れが叫ばれるようになって、久しい。最近子どもだけではなく、親の世代の活字離れが問題になっている。「学力向上」を考えると、最も大事なものは読書であると考え。読書はすべての力の基礎を成す。想像力や感性も育てる。「本を読まない」子どもたちに読書の楽しさを教え、本の世界を広げる手助けをすることは、今や欠かすことのできないものとなっている。
- 本単元のねらいは、ブックトークにより、「本の世界を広げること」である。一つのテーマにそって本を紹介していくブックトークは、文学作品にとどまらず、広い範囲の本を紹介するもので、本の楽しさを味わえ、本の世界を広げることができる。
- 本単元では、指導者のブックトークを聞いた後、生徒自身のお薦めの本をもとに班ごとテーマを決め、ブックトークをする。そのためには、「ブックトークの手法を知ること」「本を読むこと」「シナリオを書くこと」「わかりやすく話すこと」だけでなく、班での話し合い、役割を受け持つことなど、班での協力も必要になってくる。全体を考えながら話すことは、自分の思いを伝えるという学習の基礎になるものと考え。
- 本学級の生徒は、明るく、授業に積極的に取り組もうとする姿勢がある。発問に対しても元気よく発言し、前向きである。発想が豊かで、伸びやかである。しかしながら、根気強く取り組むということは苦手で、難解な課題に対してはあきらめる傾向がある。
- 毎朝の十分間のモーニングタイムでは静かに読書に取り組んでいるが、部活動をしている生徒や塾に通っている生徒もおり、日常的に読書に取り組む時間的ゆとりはあまりない。また、本のジャンルには偏りがあり、携帯小説しか読まない生徒もいる。しかし、読書の楽しさを知っている生徒はいる。友人からの本の紹介は、読書の幅を広げさせることになると考える。
- 指導にあたっては、進んで読書に親しもうとする意欲を大切にしたい。そのためには、学校司書の連携を深める必要がある。手順としては、まず、自分が感動した本を、興味をもった本を選ばせ、次に、班の中で発表し合い、共通のテーマを決めさせ、練習をさせ、練習をさせる。最後に、発表をさせる。ブックトークを通して、本の世界を広げさせ、伝えることの楽しさも感じさせたい。
- 3つの授業改善のポイントの視点からは、「教えること」と「学ぶこと」を区別して指導したい。生徒にとって良い本との出会いを作り出していきたい。教師によるブックトークや読書案内など、新しい本との出会いの場をもちたい。ブックトークの手順や手法は、いくつかのパターンを教えていき、推薦したい本の内容や思いを伝えるためのシナリオの作成は、感性を大切にしたい。また、その中から、自分が考えたことと盛れ込んだ読書とを参考にしたい。他の班のブックトークを聞いて学んだことをもとにメモさせるなど、考えることを大切にしたい。良い本との出会いが読書の世界を広げ、日常的な読書が学力の向上につながると考える。

#### 3 単元目標

観 点	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書に興味をもって取り組んでいる。</li> <li>○ 班で協力して、ブックトークに取り組んでいる。</li> <li>○ 他の班のブックトークを、自分の選書や生活に役立てようとしている。</li> </ul>
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本の魅力を伝えるブックトークをすることができる。</li> <li>○ 他の班のブックトークを聞いて、本の世界を広げることができる。</li> </ul>
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分のお薦めの本のシナリオを、わかりやすい文にすることができる。</li> </ul>
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の取り上げた本について、内容やテーマを読み取ることができる。</li> </ul>

言語についての知識・理解・技能	○話し言葉にふさわしい言葉をつかうことができる。
-----------------	--------------------------

- 4 単元の指導・評価計画 単元の配当時間：9時間
- ※「指導上の留意点」における①②③：3つの授業改善のポイントに係る手だて
- ①「教えること」と「学ばせること」を区別した手だて
- ②学習過程の要所で「考えを書くこと」を大切にしたりした手だて
- ③学習したこと「まとめ」と「ふり返り」を徹底した手だて
- ：家庭学習の課題を生かした手だて ○：一般的な手だて
- ※「評価規準（評価方法）」における
- 関：国語への関心・意欲・態度 話：話す・聞く能力
- 書：書く能力 読：読む能力
- 言：言語についての知識・理解・技能
- ※主な指導事項：2, 3年 AI

次	時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	1	○ブックトークの手順、ポイントを知り、流れを確認する。	①いろいろな手法を使ったブックトークを実演する。 ③ブックトークの手法を確認させる。 ③ブックトークまでの流れを確認させる。 ②●今まで読んだ本の中で、友達に紹介したいと思う本を3冊選んで、αノートにあらすじや簡単な感想を書かせる。	関 読書に興味をもって、ブックトークを真剣に聞いている。 (様相チェック)
2	1	○班で、お薦めの本を紹介し合い、ブックトークのテーマを決める。	○班で、自分のお薦めの本を紹介させる。 ○わからないところは、質問や確認をさせる。 ○意見を出し合いながら、共通のテーマを見つけさせる。 ①ふさわしい本が見つからないときは、教師や学校司書に相談させる。	読 自分の取り上げた本について、内容やテーマを読み取ることができる。 (様相チェック) 関 班で協力し、テーマや本を決めようとしている。 (様相チェック)
3	2	○ブックトークの順番や手法を確認し、担当の本についてシナリオを書く。	○本を実際に持ってこさせ、具体的な流れを話しあわせる。 ②つながぎを考えながら、わかりやすいシナリオを書かせる。	書 自分のお薦めの本のシナリオを、わかりやすい文にすることができる。(プリント分析) 言 話し言葉にふさわしい言葉をつかうことができる。(プリント分析)
4	2	○演出や小道具を考え、練習する。	①本の内容を効果的に伝える演出や小道具を考えさせる。 ③シナリオの推敲をさせ、ブックトークの練習をさせる。	関 班で協力して、ブックトークに取り組んでいる。 (様相チェック)
5	1	○班ごとにリハーサルをする。	①つながぎに気をつけながら、班ごとに通しでリハーサルをさせる。気がついたところは、アドバイスする。	関 班で協力して、ブックトークに取り組んでいる。 (様相チェック)
6	1	○3つの班がブックトークをする。	①1班ずつ、テーマにそってブックトークをさせる。終わった班には、自己評価をさせる。 ○他の班のブックトークを聞いてメモをとらせる。	話 本の魅力を伝えるブックトークをすることができる。 (様相チェック) 話 他の班のブックトークを聞いて、本の世界を広げることができる。 (様相チェック) (プリント分析)
	1	○3つの班がブックトークをする。	①1班ずつ、テーマにそってブックトークをさせる。終わった班には、「振り返りシート」で自己評価をさせる。	話 本の魅力を伝えるブックトークをすることができる。 (様相チェック)

本時		②③他の班のブックトークを聞いてメモをとらせる。 観点 ・声の大きさ ・言葉の明瞭さ ・話のわかりやすさ など	話：他の班のブックトークを聞いて、本の世界を広げることができる。 (様相チェック)
			関：他の班のブックトークを、自分の選書や生活に役立てようとしている。 (様相チェック)

5 本時 平成22年9月 日(曜日)第 校時 計画9時間中の9  
第2学年教室にて

(1) 本時の主眼

- 本の魅力を伝えるブックトークをすることができる。(話す・聞く能力)
- 他の班のブックトークを聞いて、本の世界を広げることができる。(話す・聞く能力)

(2) 本時の指導観

前時までに生徒は、本を読み、班で話し合い、シナリオを書き、発表の準備をしている。また、3班は、すでにブックトークを終えている。  
本時は、残りの3班の発表である。発表生徒は、他の班のブックトークを聞き、コツも楽しさもわかりつつあると思われる。緊張しつつも、楽しいブックトークとさせたい。  
本時のまとめとして、それぞれのブックトークについて振り返り、「話すこと」の基本を学ばせたい。また、本の世界を広げさせ、読書への意欲を高めさせたい。

(3) 準備

- 教師…ふり返しシート、「ブックトークを聞いて」のプリント、磁石
- 生徒…ブックトーク用の本、小道具

6 過程

学習活動・内容	指導上の留意点	評価の規準と方法	形態	配時
1 この時間の流れを確認する。	○プリント類を確認し、説明する。		全体	2
2 めあてを確認する。	めあて：本の魅力を伝えるブックトークをしよう。			
3 ブックトークをする。 (1) ( ) 班	○発表しやすい雰囲気を つくる。  ②③他の班は「ブックトークを聞いて」のプリントに記入させる。 観点 ・声の大きさ ・言葉の明瞭さ ・話のわかりやすさ など  発表した班は、ふり返しシートに記入させる。	話：本の魅力を伝えるブックトークをすることができる。 (様相チェック)  話：他の班のブックトークを聞いて、本の世界を広げることができる。 (様相チェック)	班  個人	1 1  4
(2) ( ) 班			班 個人	1 1 4
(3) ( ) 班			班 個人	1 1 4
4 ブックトークをふり返る。良かったところを中心に発表する。	○各班の良かったところを簡単にふり返る。個人の感想や反省は、プリントにまとめて配布することを伝える。	関：他の班のブックトークを、自分の選書や生活に役立てようとしている。 (様相チェック)	全体	3